

公民館“報”

「老人の日・老人週間」=9月15日～21日

国民の祝日「敬老の日」は9月第3月曜日



令和元年の賑やかな「敬老懇親会」



令和3年の「老人の日・老人週間」が近づきました。通常の間であれば、それぞれの地域でこの期間、「敬老の日」前後に「敬老会」（懇親会食）が賑やかに催されます（上記写真）しかし、コロナ禍のため昨年、今年とつづけて中止となりました。明野地区ではその代わりに自治会や社協の役員が相談され、対象者全員に、工夫を凝らした記念品を贈ることになりました（記念品は自治会ごとに選んでいます）

「老人の日・老人週間」と「敬老の日」は二つの法律で規定されています。

簡略に整理すると・・・

* 「老人の日・老人週間」は、老人福祉法で9月15日（老人の日）～21日の間が老人週間と定められています

趣旨・・・国民の間に広く老人の福祉について関心と理解を深めるとともに、老人に対し自らの生活の向上に努める意欲を促す。

* 「敬老の日」は、国民の祝日に関する法律で定められた国民の祝日です（9月の第3月曜日）

趣旨・・・多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う。

となっています。



- 1/体に優しい手軽な運動。
- 2/食事はよく噛んで。
- 3/よく笑うと脳が活性化する。
- 4/感動する。楽しみを見つける。

敬老の日（敬老会）発祥の地は、兵庫県野間谷村（現多可町）で、「年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」と「としよりの日」を定め、敬老の会を開いたのが、全国に広まったと伝えられています。さらに遡れば、松平定信（江戸時代後期の幕府老中）が、「年寄りのしわとしわの間には、経験という宝石が挟まっている」と言って、城下町の老人を月に1回城に招いて意見を聞き、自分の政治に活かしたことが伝承されたとも言われています。

いずれにしても・・・！

- 老人の「老」は・①老師=年取った僧または先生。
②老中=将軍に直結し、藩政を総理する人。
③老成=経験を積んで、慣れ巧みなこと。

など尊敬語として解説されています・・・？